

## 【令和5年4月官公庁剣道合同稽古会】実施報告

- 参加者数 8段-1名、7段-23名、6段-6名、5段-3名の計33名でした。
- 本日の対人稽古は、マスクを着けて手指の消毒、三密回避、換気を行い実施しました。
- 13時入室し更衣後13時50分まで自由参加で剣道形等行いました。
- 池之野事務局長の号令で準備体操を約10分程度行いました。

【開 会】14:00



### 1. 会長挨拶（林会長）

令和5年度初めての合同稽古会、今年度の連盟各事業に協力をお願い。それぞれの目標に向かって欲しい。それには、健康が大切である等のご挨拶がされた。

### 2. 理事長挨拶(谷口)

年度が替わりのご多用中多くの参加の御礼。4月は、中央講習会への参加・報告会、5月には、総会、6月には東京官公庁大会、7月は久しぶりに市ヶ谷自衛隊での講習会等企画。(協力依頼)

### 3. 事務連絡事項（池之野事務局長）

- 5月 総会 5月28日(日)13～14時、小豆沢体育館第二道場
- 合同稽古 14～17時、小豆沢体育館第二道場
- 6月合同稽古 6月11日(日)13～14時、小豆沢体育館第二道場
- 7月講習会・合同稽古 7月22日(日)13～17時、市ヶ谷自衛隊厚生棟2F 体育館
- 本日の日程

①中央講習会の概要報告（谷口理事長）14:10～14:50（40分）

②稽古 15:00～16:00（60分）

○これからの稽古は、感染ガイドラインや熱中症に注意しながら30分で小休憩も入れながら実施する。

### 4. 閉会 16:00

「稽古会の模様」



### ○中央講習会の概要説明

講習会報告書を配布し、剣道中央講習会(神戸市体育館)の概要を説明しました。開講式の後、全剣連の令和5年度の計画、ガバナンス、コンプライアンスの重要性。新型コロナウイルスが収束するまでの暫定的審判法の2つの趣旨と概要を説明。

(6月の大会前に実技を行う予定)日本剣道形は、詳しく報告書に記載し剣道形解説書、講習会資料の活用を依頼する。実技は、7月の講習会で行う予定。次に、感染対策について資料を基に対人稽古時はマスク着用、当面の問題点、ワクチン接種の推奨等説明する。女子委員会の

講義は、パワーポイント、動画を使いながら、幼少年指導や女子の審判等の講習などで剣道普及の底上げにご尽力されていることなど感想を説明。指導法では我が国の伝統文化に培われた剣道を正しく伝承、その発展剣道理念に基づく高い水準の剣道を説明。他幼少年の指導例、普及委員会では、剣道の理念の深化について整理中。事例発表では、福島剣道連盟小中学校の部活動を地域運動部活動の推進、地域ぐるみで子供たちを育てることへ移行する。山梨県では、剣道人口減少対策でマスメディアの活用。剣道大会の情報を新聞、VTRで放映する。また、鬼滅の刃で子供たちが剣道に興味を持ったことなど発表があった。 年度初めの合同稽古での報告が大切である。 以上



○日本剣道形の稽古



○指導稽古の様



以上